

日本におけるデジタル化の状況

長谷川 蒼太

2025 年 7 月 7 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する調査 [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者数は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

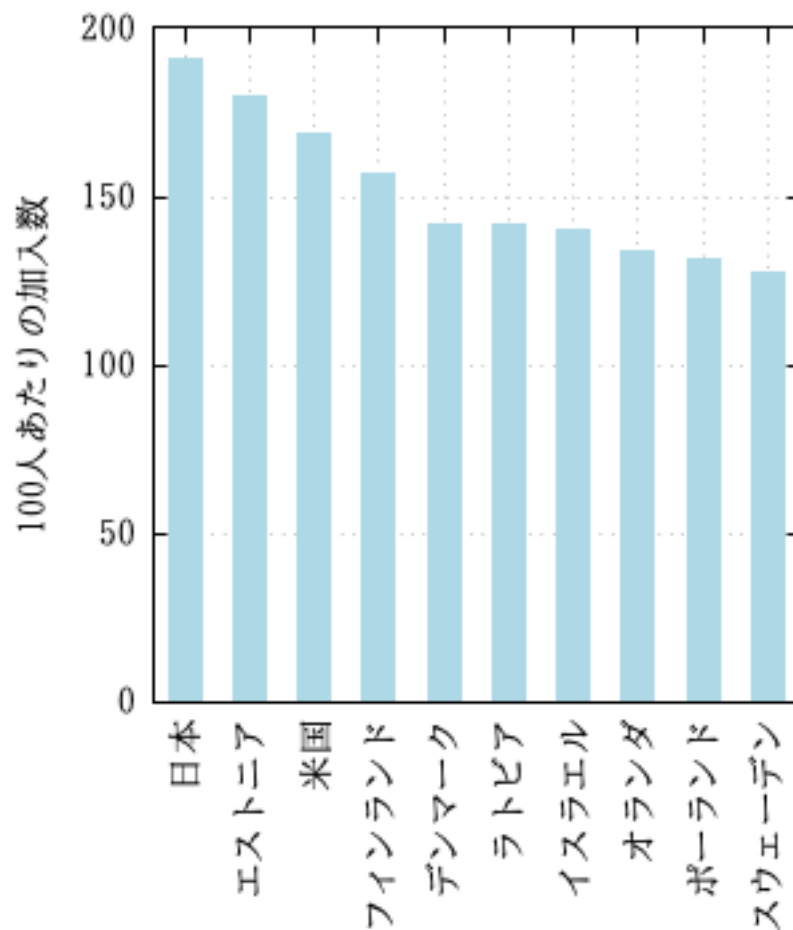


図 1: 光ファイバー回線の加入者数（100 人あたり）

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所（IMD）の調査 [2] によると、表 1 にすように、日本のデジタル競争力のランキングは調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、知識分野で 25 位となっている。

表 1: デジタル競争力ランキング（64 カ国中）

国	総合	知識
米国	1 位	3 位
香港	2 位	5 位
スウェーデン	3 位	2 位
デンマーク	4 位	8 位
シンガポール	5 位	4 位
韓国	12 位	15 位
中国	15 位	6 位
日本	28 位	25 位

3 考察

- 日本について
 - － モバイルブロードバンドの加入者数は 100 人あたり約 190.5 人と、調査対象国の中で最も高い水準にあり、インフラの整備が非常に進んでいる
 - － デジタル競争力ランキングでは、64 か国中 28 位で特に「知識分野」においては 25 位と、インフラの整備状況に比べて総合的な競争力が低く ICT 人材の不足や、教育・企業におけるデジタル活用の遅れが一因と考えられる
- 全体
 - － モバイルブロードバンドの加入者数とデジタル競争ランキングに比例の関係はない

[1] [2]

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.